

2016年6月8日
東日本旅客鉄道株式会社

駅改良の工事計画について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京 2020 大会」)期間中にお客さまのご利用が多く見込まれる競技会場周辺の駅や、ベイエリア競技会場等への主要乗換え駅において、改札口やコンコースの拡張、バリアフリー設備の拡充等の駅改良を計画してまいります。

この度、千駄ヶ谷駅・信濃町駅及び原宿駅について具体的な計画がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 駅改良工事を実施する駅

(1) 千駄ヶ谷駅

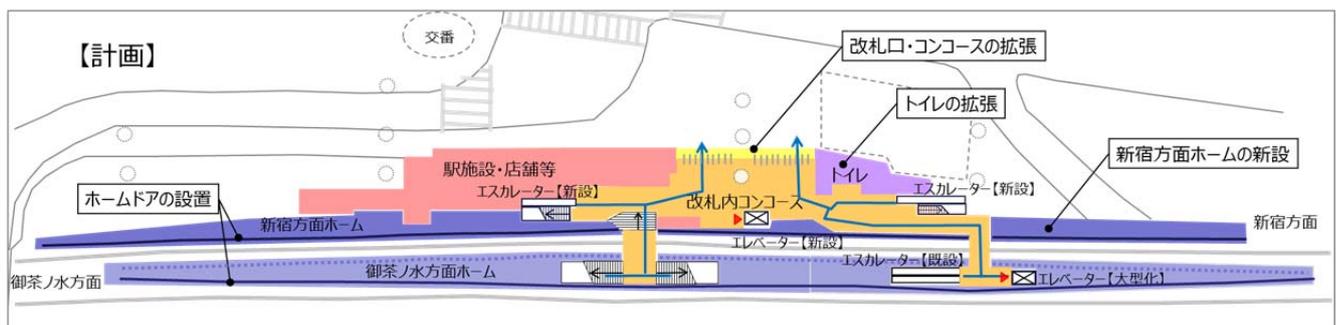
- ① 現在、使用していない臨時ホームを新宿方面の専用ホームにします。
- ② 改札口やコンコースを拡張し、混雑緩和を図ります。
- ③ お客さまの動線がスムーズになるよう、新宿寄りに改札口を移設します。
- ④ ホームドアを新たに設置し、安全性の向上を図ります。
- ⑤ エレベーターの増設等、バリアフリー設備を拡充するほか、トイレを拡張します。



駅外観



改札内コンコース



※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

(2) 信濃町駅

- ① ホームドアを新たに設置して安全性の向上を図ります。
- ② エレベーターの増設やトイレの拡張を行います。

(3) 原宿駅

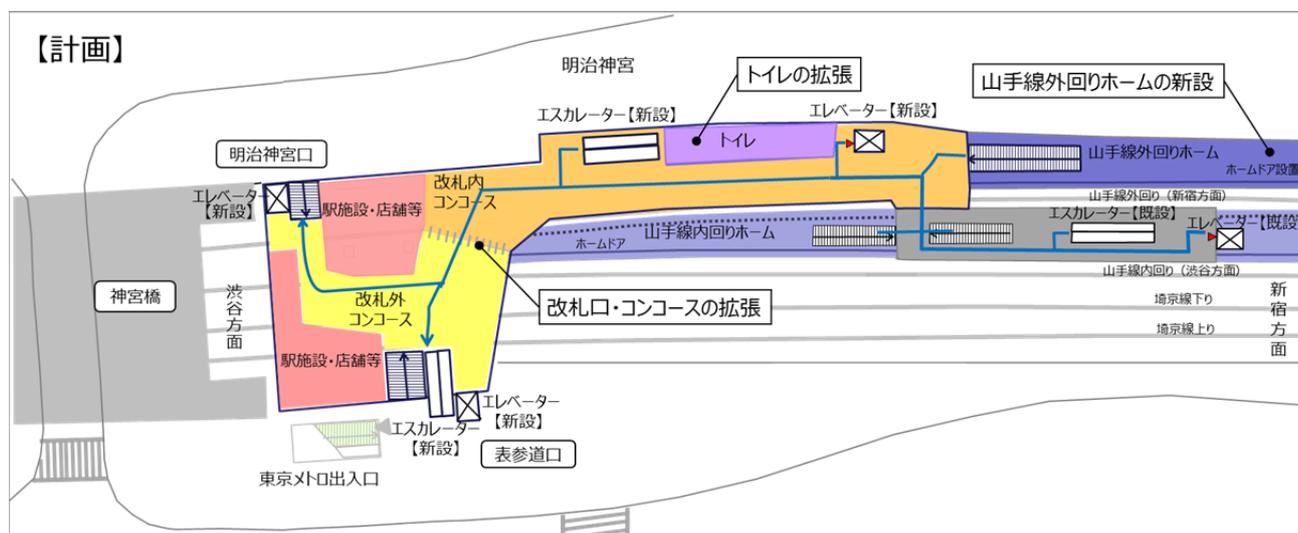
- ① 現在、年始のみ使用している臨時ホームを外回り専用ホームにします。
- ② 線路及びホーム上に2層の駅舎を新設し、コンコース、改札口、トイレを拡張して混雑緩和を図るほか、エレベーターを増設します。
- ③ 明治神宮側に新たに出入口を設置します。
- ④ 今回新設する外回り専用ホームは、通路で竹下口改札にも接続します。



駅外観(明治神宮側)



改札内コンコース



※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

今回、駅改良を計画している3駅の工事費総額は約 250 億円を見込んでおります。

※なお、バリアフリー設備・ホームドアの整備については、国や自治体などのご支援をいただき、進めてまいります。

2. 駅改良を計画中の駅

主な駅 : 有楽町駅、新橋駅、浜松町駅、日暮里駅、大井町駅、新木場駅 等
改良内容 : コンコース拡張、エレベーター増設等のバリアフリー設備拡充 等

今後、検討を進め、計画がまとまり次第、お知らせいたします。



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)